

平成30年度県土整備部発注工事における契約解除について

平成30年10月26日
千葉県県土整備部港湾課
TEL043-223-3858
千葉県県土整備部技術管理課
TEL043-223-3508

平成30年9月4日に葛南港湾事務所が契約した野積場^{のづみば}舗装工事において、積算の誤りで予定価格及び最低制限価格が過小になっていたことが判明しました。

本工事は、適正な積算であれば一般競争入札（総合評価方式）で執行すべき案件であり公正な入札がなされていないものと思慮されたため、契約した相手方には謝罪及び事情の説明を行い、契約の解除手続きをいたしました。

ご迷惑をおかけした関係者の方々、県民の皆様の信頼を損なうような事案であったことから、心からお詫び申し上げます。

また、今回、様々な再発防止策に取り組んでいる状況下で積算誤りが発生したことに鑑み、部内全出先機関の積算に係るチェック体制・取組状況について現地確認を行い、その結果を踏まえ、再発防止策を拡充することとしました。

今後とも、積算のチェック体制の強化を行い、再発防止に努めてまいります。

1 対象工事

工 事	名：県単港湾整備（港建特別）工事（野積場舗装工）
箇 所	名：千葉港葛南中央地区 船橋市潮見町地先【参考資料1】
入 札 方 式	式：指名競争入札
予 定 価 格	格：48,416,400円（税抜き 44,830,000円）[事前公表]
最 低 制 限 価 格	格：43,201,080円（税抜き 40,001,000円）
発 注 機 関	関：葛南港湾事務所

2 経緯

8月15日 指名競争入札制度による指名通知
8月31日 開札の結果、A者は最低制限価格を下回ったことから失格とした。
入札価格 税抜き 39,999,000円
最低制限価格以上の最低額で入札したB者を落札業者とした。
入札価格 税抜き 40,005,000円
9月 4日 B者と工事請負契約を締結した。
9月11日 工事を施工するにあたり、落札業者であるB者の現場代理人から設計書の内訳表の確認依頼があり、再チェックを行ったところ担当職員が誤りを発見した。
9月18日 B者に謝罪及び説明を行った。
9月19日 B者との契約を解除した。

3 積算の誤りの概要

工事の設計書を作成するシステムの入力に際し、工事費の積算項目のひとつである上層路盤（再生アスファルト安定処理）の材料単価について、 m^3 あたり単価（21,700円）を入力すべきところ、tあたり単価（9,250円）を入力したため、予定価格が過小となっていました。

正しく積算すると、予定価格が5千万円以上となり、一般競争入札で執行しなければならない工事でした。【参考資料2】

予定価格及び最低制限価格

単位：円

	正	誤	過小額
予定価格（税抜き）	52,620,000	44,830,000	7,790,000
最低制限価格（税抜き）	46,997,000	40,001,000	6,996,000

開札結果

入札者	入札価格 （税抜き）円	
A者	39,999,000	失格
B者	40,005,000	落札
C者	40,026,000	
D者	40,347,000	
E者	40,347,000	
F者	42,500,000	
G者	43,000,000	
H者	44,500,000	
I者	44,830,000	
J者	無効	
K者	辞退	
L者	辞退	

4 事業者への対応

- (1) B者に謝罪と事情の説明を行い、契約を解除いたしました。
- (2) 入札に参加した事業者の方に、謝罪と事情の説明を行いました。
- (3) 当該工事については、設計内容を見直して改めて入札を行う予定です。

5 積算の誤りの原因

- (1) 担当職員が積算において、材料単価の入力時に誤った単位あたりの単価を入力してしまい、「設計書チェックシート」に基づいて確認した際にも、誤りを見落とした。【参考資料3】
- (2) チェック者が確認の過程においても発見できなかった。
- (3) チェック者が担当職員の積算の指導を行っていた。この者が、チェックを行ったため、客観的なチェックが行われなかった。

6 再発防止策

(1) 現在までの取組

- ① 出先機関の課長及び主任に対して、9月7日にチェックミス防止のための研修を実施し、その後、各出先機関において、積算担当者に対する研修を実施しました。
- ② 設計書チェックシートを改善し、新たに具体的なチェック方法を明示した解説版（案）を作成したうえで、10月1日から試行するとともに、各出先機関から意見を求めました。
- ③ 10月2日から部内全出先機関の積算に係るチェック体制・取組状況について、現地確認を行い、今後のチェック体制についても意見交換を行いました。

(2) 今後の取組

- ① 設計書チェックシートによるチェックが確実に行われるよう、複数の目によるチェックができる「審査の場」を設置します。【参考資料4】
- ② 「設計書チェックシート及び解説版」は試行の結果を踏まえ改訂し、確実に運用していきます。【参考資料5】
- ③ 「積算誤り防止研修」については、今後も引き続き実施するとともに、本庁職員が出先機関を巡回し、現地での研修・指導を行います。

今後も、職員の適正な業務執行に係る監督を徹底するとともに、チェック体制をより充実させ、適切な事務手続きと法令遵守についての指導を徹底してまいります。

葛南港湾事務所管内 港湾施設図



入札執行区分

予定価格（税込み）	入札執行方式	予定価格
5000万円未満	指名競争入札	事前公表
5000万円以上	一般競争入札	事後公表

・一般競争入札 ※今回選ばれるべき入札方式

契約に関する公告をして、一定の資格を有する不特定多数の希望者を競争に参加させ、契約主体に最も有利な条件を提示した者と契約する方法である。

千葉県が発注する建設工事は、平成 19 年 10 月から「建設工事に関わる一般競争入札の実施要領」に基づき、原則として 5 千万円以上のすべての工事は一般競争入札とする。

・指名競争入札 ※今回誤って選ばれた入札方式

資力・信用等が適当と認められた特定多数の競争参加者を選んで競争させ、契約主体にもっとも有利な条件を提示したものと契約する方法である。

設計書チェックシート(一般用)

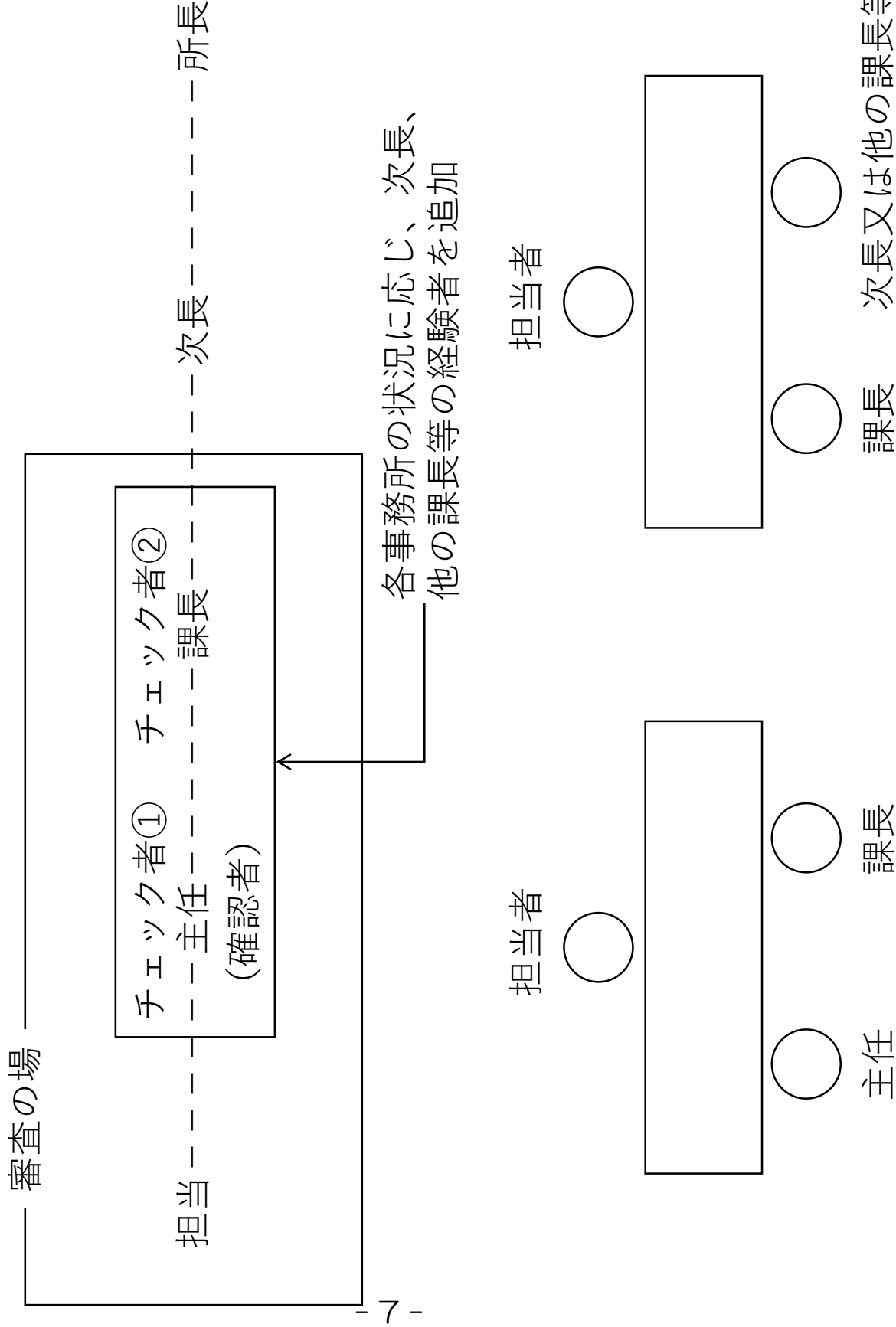
参考資料 3

(平成28年9月1日から適用)

出先機関名			工事番号		
工事名					
事業課			設計者 職・氏名		
チェック日			チェック者 職・氏名		
区分	チェック項目				チェック
仕様書	1) 施工条件の明示内容は適切か (H14.4.24技第29号)				<input type="checkbox"/>
	2) 特記仕様書(残土、廃棄物、環境対策等)の明示内容は適切か				<input type="checkbox"/>
	3) リサイクル計画書(阻害要因説明書含む)が添付されているか				<input type="checkbox"/>
	4) 交通誘導員の人数計上は適切か				<input type="checkbox"/>
	5) 三者会議を実施する必要の有無(実施の場合は特記仕様書に記載のこと)				有・無
図面	6) 位置図(施工箇所等)が明示されているか				<input type="checkbox"/>
	7) 施工区域(工事の起終点等)が明示されているか				<input type="checkbox"/>
	8) 設計図の添付漏れはないか				<input type="checkbox"/>
	9) 参考図の扱いは適切か(指定・任意の表現は適切か)				<input type="checkbox"/>
設計書 総括情報表	10) 入力条件		主たる工種		<input type="checkbox"/>
	前払率		施工地域		
	11) 適用単価地区		12) 単価適用日		<input type="checkbox"/>
設計 内容	数量	13) 図面・数量計算書と設計書数量は整合しているか(土木工事数量算出要領)			<input type="checkbox"/>
		14) 数量転記ミスや計上漏れはないか、土量変化率の間違いはないか			<input type="checkbox"/>
	単位	15) 単位変換ミスはないか(m ² ⇔m、10m⇔1m等、オプション単価欄)			<input type="checkbox"/>
	単価	16) 経験的判断によるチェック(km当り、m ² 当り等)			<input type="checkbox"/>
		17) 県設定単価以外の単価は適切か			<input type="checkbox"/>
		18) 同種の構造物・橋梁等の単価表、設計額との価格比較チェック			<input type="checkbox"/>
		19) 過年度の工事単価や近似工事の施工単価との価格比較チェック			<input type="checkbox"/>
	諸経費	20) 「間接工事費等の項目別対象表」に基づき計算されているか 対象額からの控除は良いか(管理費区分を確認)			<input type="checkbox"/>
21) 共通仮設費に積上げ計上する項目・内容は適切か、計上漏れはないか			<input type="checkbox"/>		
委員会関係	22) 安全対策委員会(各部会及び出先機関部会を含む)を開催したか(県土整備部建設工事 安全対策委員会設置要綱及び運営要領を参照)			済・不要	
	23) 技術活用検討委員会を開催したか(技術活用検討委員会設置要領を参照)			済・不要	
その他	24) 「建設物価」等に掲載されている「公表価格」で積算していないか (実取引では公表価格から値引きされることがあるので、特別調査で単価を決定すること)			有・無	
	25) 見積り単価・歩掛り等の有無 ・見積り方法は適正か(H21.5.27)技第104号、(H22.3.30)技第667号 ・図面等と見積りの仕様(材質・規格等)が整合しているか			有・無 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
	26) 材料、工法、規格の選定は適切か 積算基準にない工法等の積算根拠は整理されているか			<input type="checkbox"/>	
	27) 仮設工の計上は適正か(仮設材の在場期間、水替日数等)			<input type="checkbox"/>	
	28) コスト縮減の施策が適切に実施されているか(コスト縮減の事例は技術管理課の庁内HP を参照)			<input type="checkbox"/>	
	29) 事業主務課との調整が必要か			有・無	
	特記事項				

※ 設計金額2千万円以上の工事で作成し、設計書にクリップ止めで決裁し、事業担当課長が保管。

設計書の審査



設計書チェックシート（工事）

参考資料5

(平成30年10月26日から適用)

出先機関名		担当課		工事番号					
工事名									
主務課		設計者(職・氏名)		チェック者(職・氏名)					
区分	チェック項目					設計者	チェック者		メモ欄
						チェック日	チェック日	再チェック日	
図面	1)	位置図(施工箇所等)及び施工区域(工事の起終点等)が正しく明示されているか				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	2)	設計図の添付漏れはないか				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	3)	参考図の扱いは適切か(指定・任意の表現は適切か)				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
設計書 総括情報表	4)	前払率		主たる工種		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		契約保証補正		施工地域					
		適用単価地区		単価適用日					
設計 内容	数量	5) 数量計算書(数量算出表)に算出根拠(算出式)や出典元が正しく明記されているか				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		6) 「図面」、「数量計算書」、「設計書数量」は整合しているか(規格・数量の転記ミスや計上漏れはないか)				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	単価	7) 直接入力単価・歩掛りの有無 直接入力単価・歩掛り(手入力)の決定根拠は適切か				有・無	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		8) 単位変換ミスはないか(m ² ⇔m、10m⇔1m、t⇔m ³ 等)				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		9) 「建設物価」等に掲載されている「公表価格」で積算していないか				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		10) 特別調査及び見積りの単価・歩掛りの有無 ・見積り方法は適正か ・図面等と単価・歩掛りの内容(材質・規格等)が整合しているか				有・無	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	諸経費	11) 「間接工事費等の項目別対象表」に基づき計算されているか 対象額からの控除等は良いか(管理費区分を確認)				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		12) 共通仮設費に積上げ計上する項目・内容は適切か、計上漏れはないか				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		13) 施工箇所が点在する工事であるか(適切に積算しているか)				有・無	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	条件選択	14) 施工条件は適切に選択されているか (条件区分における施工規模は適切か、「各種」単価を正しく選択しているか)				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	工期	15) 工期は適切に設定しているか				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	その他	16) 材料、工法、規格の選定は適切か 積算基準にない工法等の積算根拠は整理されているか				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		17) 仮設工の計上は適正か(施工上安全に配慮した設計か、仮設材の在場期間、水替日数等は適切か)				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		18) 交通誘導警備員(AB)の人数計上は適切か				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		19) 時間的制約作業や夜間作業はあるか(補正は適切か)				有・無	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	仕様書	20) 施工条件の明示内容は適切か				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		21) 特記仕様書(指定材料、支給品、建設発生土、建設廃棄物、環境対策等)の明示内容は適切か				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		22) リサイクル計画書(阻害要因説明書含む)が添付されているか				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		23) 三者会議の開催について特記仕様書に明示されているか(対象工事以外の土木工事も明示する)				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
24) フレックス工期契約制度の適用の有無(適用する場合、工事着手期限等の設定は適切か)				有・無	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
25) 完全週休2日制モデル工事の適用の有無(型式別に特記仕様書に明示されているか)				有・無	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
26) 快適トイレ設置対象工事の適用の有無(特記仕様書に明示されているか(2千万円以上の土木工事))				有・無	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
27) ICT活用工事(土工)、(舗装工)の適用の有無(特記仕様書に明示されているか)				有・無	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
28) デジタル工事写真の黒板情報電子化について、特記仕様書に明示されているか				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
委員会関係	29) 建設工事安全対策委員会(各部会及び出先機関部会を含む)を開催したか				済・不要	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(開催日)	
	30) 技術活用検討委員会を開催したか				済・不要	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(開催日)	
自由項目	31)								
	32)								
	33)								

設計書チェックシート（工事）【解説】

平成30年10月26日

千葉県 県土整備部 技術管理課

設計書のチェックにあたって

1. チェック者は、設計者から直接説明を受ける対面式でチェックを行ってください。
2. 解説中の”チェックのポイント”は、チェック方法の一例です。設計条件によりチェックの内容は変わると考えられますので、各自でチェック方法を工夫してください。
3. 同種の構造物や施工内容が同等の近似工事がある場合、設計書を比較することで、施工単価や工事費に乖離がないかを確認してください。
4. 予定価格1億円未満の工事や2千万円未満の特殊工事・特殊工法等の工事についても、必要に応じ、技術活用検討委員会（出先機関部会）を開催してください。

5. 相談窓口

- チェックシートに関すること 技術管理課 企画調整班
TEL：043-223-3235
- 積算に関すること 技術管理課 技術情報班
TEL：043-223-3503

※ 設計書チェックシートはすべての工事で作成し、設計書の決裁完了後、設計書と一緒に保管すること。
また、必要に応じてチェック項目（自由項目）を追加すること。

チェック項目および解説【工事】	
図面	<p>1) 位置図（施工箇所等）及び施工区域（工事の起終点等）が正しく明示されているか</p> <p>チェックのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・位置図があるか、又は平面図等に位置図（施工箇所）が記載されているかを確認する。 ・平面図に工事の起終点が明示（旗上げ）されているか確認する。 ・工事名、設計数量が正しく記載されているか確認する。
	<p>2) 設計図の添付漏れはないか</p> <p>チェックのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・位置図、平面図、縦断図、横断図、展開図、構造図（配筋図等）、仮設図、施工ステップ図、座標図等に過不足がないかを確認する。
	<p>3) 参考図の扱いは適切か（指定・任意の表現は適切か）</p> <p>チェックのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮設工事の方法等を指定しない（任意仮設）の場合、図面に「参考図」と記載しているか確認する。 ・工法指定の場合は参考図としない。
総括情報表	<p>4) 設計書の「総括情報表」の内容に間違いはないか</p> <p>チェックのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前払率、契約保証補正、適用単価地区及び施工地域が適切か確認する。 ・積算基準書に基づき、主たる工種が正しく選択されているか確認する。 ・対象額または直接工事費の最も大きい工種を主たる工種区分として設定しているか確認する。 ・施工箇所が点在する工事の主たる工種区分は工事全体で判断しているか確認する。 ・施工箇所が点在する工事の地区設定は、施工箇所毎に設定しているか確認する。 ・単価適用日が最新の適用日になっているか確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> （注意）切削オーバーレイの工種は「舗装工事」であることに注意！ </div> <p>参考資料（参照先）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「工種区分」積算基準（共通編・その1）I-2-②-5、6
	<p>5) 数量計算書（数量算出表）に算出根拠（算出式）や出典元が正しく明記されているか</p> <p>チェックのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土木工事数量算出要領（案）に基づき数量を算出したか確認する。 ・数量の算出根拠や出典元が数量計算書に正しく明記されているか確認する。 ・土砂等の掘削、運搬、埋戻し、盛土等がある工事は、土質に応じた土量変化率を正しく適用しているか確認する。 ・ロス率を考慮した材料数量を計上する必要があるか確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> （注意）ロス率を考慮した数量を入力する必要がある材料は注意！ 例）クラック防止シート（材料費）、捨石（材料費）等 </div> <p>参考資料（参照先）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「土量変化率」積算基準（共通編・その1）II-1-①-1 ・「土木工事数量算出要領（案）」（技術管理課庁内HP）
数量	<p>6) 「図面」、「数量計算書」、「設計書数量」は整合しているか（規格・数量の転記ミスや計上漏れはないか）</p> <p>チェックのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図面と数量計算書の数量が整合しているか確認する。 ・数量計算書と設計書の本工事費内訳表の数量との整合を確認する。 ・設計表示単位（数値基準）が正しいか確認する。 ・任意仮設の設計数量（数量総括表）は「1式」となっているか確認する。 <p>参考資料（参照先）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「数値基準」積算基準（共通編・その1）I-5-①-1 ・「土木工事数量算出要領（案）」（技術管理課庁内HP）

チェック項目および解説【工事】

単価	7)	<p>直接入力単価・歩掛りの有無 直接入力単価・歩掛り（手入力）の決定根拠は適切か</p>
	チェックのポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・「入力単価一覧表」が作成されているか確認する。 ・特殊施工単価（Vコード）を作成した場合、「入力単価一覧表」に記入しているか確認する。 ・特殊施工単価を適用する場合、県設定単価・歩掛りが適用できない理由が整理されているか。 ・入力単価が適切に設定されており、正しく設計書に入力されているか確認する。 ・入力単価に経費が含まれる場合（試験費等）は、管理費区分の設定を確認する。 ・物価資料等は適用年月（時点）が適切か確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>➡「入力単価一覧表は」「別紙様式」（参考）を活用してください！</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>（注意）舗装切断時の排水の処理費用等の積算方法については間違えやすいため、通知等の内容を確認すること！</p> </div>
	参考資料（参照先）	<ul style="list-style-type: none"> ・「舗装の切断作業時に発生する排水の処理費用について（通知）」（H25.4.30技第54号）（技術管理課庁内HP）
	8)	<p>単位変換ミスはないか（㎡⇔m、10m⇔1m、t⇔㎡等）</p>
チェックのポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・設計単位が正しく入力されているか確認する。 ・手入力単価は、材料単価等の単位が正しく入力されているか確認する。 ・仮設材の賃料と設置撤去の単位が異なる場合、単位を揃えた時に正しく数量換算を行っているか確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>（注意）①安定処理工の「100㎡あたり」は間違えやすいので特に注意！ ②敷鉄板の設置撤去（㎡）を設計する場合、敷鉄板賃料の数量（枚）を 1㎡当りの枚数（1枚÷9.29㎡=0.107枚/㎡）に割り返す必要があるので注意！ ↑寸法（1.524m×6.096m）の場合 ③港湾の路盤工において、tあたりの材料単価を㎡あたりの材料単価で入力する場合がありますので、そのときには単位体積重量を乗じる必要があるので注意！</p> </div>	
9)	<p>「建設物価」等に掲載されている「公表価格」で積算していないか</p>	
チェックのポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・数量算出表の単価算出根拠で公表価格を適用していないことを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>（注意）実取引では公表価格から値引きされることがあるので、特別調査又は見積りで単価を決定すること！</p> </div>	
10)	<p>特別調査及び見積りの単価・歩掛りの有無 ・見積り方法は適正か ・図面等と単価・歩掛りの内容（材質・規格等）が整合しているか</p>	
チェックのポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・単価設定の優先順位どおり設定しているか、入力単価一覧表で確認する。（県設定単価→物価資料→特別調査または見積り） ・県設定単価にない処分費の単価決定にあたっては、原則として、特別調査ではなく見積りにより単価決定しているかを確認する。 ・特別調査、見積りの仕様と実際に使用する材料・施工条件等が合致しているか確認する。 ・特別調査、見積りの結果が、設計書に正しく転記されているか確認する。 ・特別調査、見積りの単価・歩掛り等が経費込みの場合、管理費区分を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>（注意）見積りは、原則として3社以上で異常値を除いた徴収の平均額を採用する。 ただし、これによることが困難な場合は、原則として最低値を参考に設計単価を決定する。</p> </div>	
参考資料（参照先）	<ul style="list-style-type: none"> ・積算基準（参考資料）「特別調査（臨時調査）に係る実施フローの改定について（通知）」（H21.5.27）技第104号 ・「積算基準の改定について（通知）」（H22.3.30）技第667号 	

チェック項目および解説【工事】

設計内容		諸経費		条件選択		
設計内容	11)	「間接工事費等の項目別対象表」に基づき計算されているか 対象額からの控除等は良いか（管理費区分を確認）	<p>チェックのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・処分費は施工内訳表で「管理費区分T」となっているか確認する。 ・県設定単価にない処分費を積算システムで計上する必要がある場合、「管理費区分T」と設定される処分費コード「WB020051」（円/m³）、「WB020052」（円/t）等を使用しているか確認する。 ・標識柱の材料費（管理費区分5）、地質・水質分析費用（管理費区分9）、支給品等、間接工事費の対象（管理費区分）が適切に選択されているか確認する。 ・見積り等の単価、歩掛りが経費込み価格の場合は、管理費区分が適切か確認する。 <p>（注意）処分費は全ての種類の廃材で管理費区分を確認！ （As廃材、Co廃材、路盤廃材、As切断排水、汚泥、除根・除草による建設副産物等）</p> <p>（注意）機械及び電気・通信設備については、請負工事費の構成が土木と異なるため、積算基準をよく確認し、管理費区分を適切に設定すること！</p>	<p>参考資料（参照先）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積算基準（共通編・その1）I-2-②-1~4 ・積算基準（機械編）IX-1-21~23 ・積算基準（電気通信編）VII-2-15 ・積算基準（参考資料）5-6~7（電気通信・機械） ・「管理費区分の設定及び処分費の単価決定方法について」（H30.9.28技第397号）（技術管理課庁内HP） 		
	12)	共通仮設費に積上げ計上する項目・内容は適切か、計上漏れはないか	<p>チェックのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重量20 t以上の建設機械の運搬費が正しく計上されているか確認する。 ・建設機械及び仮設材の運搬費で「往復分」が必要な場合、適切に計上しているか確認する。 <p>（注意）12 t以上の運搬費は、12 tまでの運賃に「2 t」増ごとに割増運賃を加算！</p>	<p>参考資料（参照先）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貨物自動車等による運搬費に係る基本運賃量等算出シート（H29年度基準版）（技術管理課庁内HP） ・積算基準（共通編・その1）I-2-②-12~16 ・建設機械等損料表（機械重量を確認） 		
	13)	施工箇所が点在する工事であるか（適切に積算しているか）	<p>チェックのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工箇所が1 km程度を超えて点在する工事が確認する。 ・主たる工種区分は、工事全体で判断しているか。 ・施工箇所毎に地区設定を行っているか確認する。 ・諸経費計算表により、諸経費が適切に積算されているか確認する。 	<p>参考資料（参照先）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積算基準（共通編・その1）I-11-①-1~2 		
	14)	施工条件は適切に選択されているか （条件区分における施工規模は適切か、「各種」単価を正しく選択しているか）	<p>チェックのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場条件に各致した積算基準の適用範囲であるか確認する。 ・条件選択において施工規模の条件区分の選択が正しいか確認する。 ・現場打ちの一般的な鉄筋コンクリート構造物の施工がある工事は、スランプ値を12cmとしているか確認する。 ・溶融スラグ入りAs合材を選択する必要がある場合、「各種」を選択し正しく積算しているか確認する。 ・土砂や廃材の運搬経路にDID地区がある場合は、施工内訳書で正しく選択されているか確認する。 ・照明器具取付（WE211500）の選択条件で、照明器具取付「各種」を選択した場合、別途灯具やケーブル類を計上しているか確認する。 <p>（注意）施工規模は施工箇所当りの数量なのか、1工事当りの数量なのか積算基準で確認！</p>	<p>参考資料（参照先）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「現場打ちの鉄筋コンクリート構造物におけるスランプ値の設定等について（通知）」（H30.5.9付け技第122号）（技術管理課庁内HP） ・「溶融スラグの有効利用の促進について（通知）」（H30.3.30付け技第662号）（技術管理課庁内HP） 		


チェック項目および解説【工事】

工期	15) 工期は適切に設定しているか	<p>チェックのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 積算基準の「作業日当たり標準作業量」から施工に必要な実日数を正しく算出しているか確認する。 施工パーティ数は適切に設定されているか確認する。 主たる工種区分毎に、準備期間、後片付け期間を正しく設定しているか確認する。 雨休率が正しく設定されているか確認する。（※H30雨休率は0.71） <p>参考資料（参照先）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「作業日当たり標準作業量」積算基準（共通編・その1）I-14-③-1～④-29 「適切な工期設定について（通知）」（H29.7.31付け技第277号）（技術管理課庁内HP） 「適切な工期設定について」（H30.3.30付け技第660号）（技術管理課庁内HP） <p>※雨休率の改定</p>
	16) 材料、工法、規格の選定は適切か 積算基準にない工法等の積算根拠は整理されているか	<p>チェックのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 委託成果品や現場状況により、使用材料や適用工法等の選定根拠が適切か確認する。 積算基準にない工法等の歩掛りは、特別調査又は見積りにより決定しているか確認する。
	17) 仮設工の計上は適正か（施工上安全に配慮した設計か、仮設材の在場期間、水替日数等は適切か）	<p>チェックのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 仮設工は施工上安全に配慮した設計となっているか、委託成果品等で確認する。 仮設材の施工期間の積上げ日数の算出方法が正しいか積算基準により確認する。 仮設材の賃料は、適用区分による賃料補正が必要か確認する。 <p>参考資料（参照先）</p> <ul style="list-style-type: none"> 積算基準（共通編・その2）II-5-①-1～10
その他	18) 交通誘導警備員（A・B）の人数計上は適切か	<p>チェックのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定路線を確認し、適正に有資格者を配置しているか確認する。 交代要員が必要な場合、交通誘導警備員の人員に加えて適切に計上しているか確認する。 特記仕様書に編成人数、配置箇所、有資格者の配置等について明記しているか確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>（注意）指定路線において施工箇所が複数ある場合は、それぞれの箇所で交通誘導警備員Aを計上すること！</p> </div> <p>参考資料（参照先）</p> <ul style="list-style-type: none"> 積算基準（参考資料）3-25～28
	19) 時間的制約作業や夜間作業はあるか（補正は適切か）	<p>チェックのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 夜間作業等の労務費補正が必要な場合は、現場条件に合った作業時間を考慮した労務費調整係数が適切に選択されているか確認する。 <p>参考資料（参照先）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「労務補正割増表」（技術管理課庁内HP）
	20) 施工条件の明示内容は適切か	<p>チェックのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 「条件明示チェックリスト」を活用する等、施工条件が適切に明示されているか確認する。 <p>参考資料（参照先）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「土木工事条件明示の手引き（案）の活用について（通知）」（H29.3.29技第642号）（技術管理課庁内HP）
	21) 特記仕様書（指定材料、支給品、建設発生土、建設廃棄物、環境対策等）の明示内容は適切か	<p>チェックのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定材料、支給品がある場合、仕様・数量等が適切に明示されているか確認する。 建設発生土・建設副産物等の運搬処分費は、運搬費と処分費の合計額を経済比較により決定し、処分量及び処分先（距離）が明示されているか確認する。 1事業において建設発生土を5,000m³以上搬出する場合は、5,000m³ごとに地質分析の費用が計上されているか確認する。 <p>参考資料（参照先）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「建設副産物の処理基準及び再生資源の利用基準」（H30.4月改定）（技術管理課庁内HP） 「建設発生土管理基準」（H29.7.1）（技術管理課庁内HP）

チェック項目および解説【工事】

仕様書	22)	リサイクル計画書（阻害要因説明書含む）が添付されているか	<p>チェックのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 建設副産物の発生量が設計書どおりか確認する。 建設副産物のそれぞれの率が目標値に達しているか確認する。 達していない場合は「リサイクル阻害要因説明書」を作成し、設計書に添付しているか確認する。（目標値はリサイクル阻害要因説明書に記載あり） <p>参考資料（参照先）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「建設副産物の処理基準及び再生資源の利用基準」（H30.4月改定）（技術管理課庁内HP）
	23)	三者会議の開催について特記仕様書に明示されているか（対象工事以外の土木工事も明示する）	<p>チェックのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 三者会議の対象工事以外の工事であっても、受注者からの申し出により三者会議を開催できる旨が、特記仕様書に記載されているか確認する。（ただし、建築工事は適用外） <p>参考資料（参照先）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「千葉県県土整備部三者会議運用方針」（技術管理課庁内HP）
	24)	フレックス工期契約制度の適用の有無（適用する場合、工事着手期限等の設定は適切か）	<p>チェックのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定工期から工事着手期限を適切に設定しているか確認する。 <p>（適用工事の例）</p> <ul style="list-style-type: none"> 早期に発注し契約を締結することが可能な工事 技術者の配置が困難なことを理由に応札者が少ない工事（橋梁修繕、港湾工事等） 施工時期が制約される工事（河川工事の出水期等）において、確実な施工を確保したい工事 債務負担行為等（補正予算等）により、受注者の施工時期の平準化が期待できる工事 <p>参考資料（参照先）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「千葉県建設工事フレックス工期契約制度実施要領」（建設・不動産課庁内HP）
	25)	完全週休2日制モデル工事の適用の有無（型式別に特記仕様書に明示されているか）	<p>チェックのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前に技術管理課が選定したモデル工事であるかを確認する。 特記仕様書で、「発注者指定型」・「受注者希望型」の区分に間違いがないか確認する。 <p>参考資料（参照先）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「完全週休2日制モデル工事試行要領」（H30.4.1）（技術管理課庁内HP）
	26)	快適トイレ設置対象工事の適用の有無（特記仕様書に明示されているか（2千万円以上の土木工事））	<p>チェックのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象工事（県土整備部発注の予定価格2000万円以上の土木工事）の場合、特記仕様書に明示されているか確認する。 災害復旧工事や設置期間の短い舗装修繕工事等は除く。 <p>参考資料（参照先）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「快適トイレの設置に関する試行要領」（H30.4.1）（技術管理課庁内HP）
	27)	ICT活用工事（土工）、（舗装工）の適用の有無（特記仕様書に明示されているか）	<p>チェックのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象工事である場合、特記仕様書に明示されているか確認する。 土工…原則として、土工量1,000m³以上の河川土工、道路土工、海岸土工を含む工事 舗装工…原則として、路盤工面積3,000m²以上の舗装工又は付帯道路工を含む新設舗装工事 <p>参考資料（参照先）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「千葉県県土整備部ICT活用工事（土工）試行要領」（技術管理課庁内HP） 「千葉県県土整備部ICT活用工事（舗装工）試行要領」（技術管理課庁内HP）
	28)	デジタル工事写真の黒板情報電子化について、特記仕様書に明示されているか	<p>チェックのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 特記仕様書の記載内容で、準拠する「写真管理基準」の適用年度が正しく記載されているか確認する。 <p>参考資料（参照先）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「デジタル工事写真の黒板情報電子化について（通知）」（H30.3.30付け技第661号）（技術管理課庁内HP）

チェック項目および解説【工事】

委員会関係	29)	<p>建設工事安全対策委員会（各部会及び出先機関部会を含む）を開催したか</p> <p>チェックのポイント</p> <p>参考資料（参照先）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安全審査対象工事である場合は、設計段階で安全審査を実施したか確認する。 ・安全審査対象工事である場合は、施工条件検討（施工条件の明示の検討）を実施したか確認する。 <p>・県土整備部建設工事安全対策委員会設置要綱及び運営要領（技術管理課庁内HP）</p>
	30)	<p>技術活用検討委員会を開催したか</p> <p>チェックのポイント</p> <p>参考資料（参照先）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・設計金額1億円以上または設計金額2千万円以上の特殊工事・特殊工法等の工事の場合、技術活用検討委員会出先機関部会（工事発注段階における設計、積算の審査）を実施したか確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>（確認） 予定価格1億円未満の工事や2千万円未満の特殊工事・特殊工法等の工事についても、必要に応じ、技術活用検討委員会（出先機関部会）を開催してください！</p> </div> <p>・技術活用検討委員会設置要領（技術管理課庁内HP）</p>
自由項目	31)	<p>※必要に応じ、案件ごとに適宜チェック項目を設定する。</p> <p>設定例</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・過年度に実施した工事等（地盤改良や埋設物調査）がある場合、内容を確認したか。 ・残土運搬計画（5000m³以上）は適切に実施されているか。 ・ほ装業種で「舗装施工管理技術者」の配置義務を求める場合、特記仕様書に記載しているか。 ・千葉県建設技術センター登録費を計上する場合（県土整備部以外の案件を県土整備部で発注する場合等）、登録費が諸経費の対象外となっているか。 ・中間検査の対象工事は、特記仕様書に明記されているか。

入力単価一覧表

別紙様式（参考）

工 事 名	優先順位																			
	1		2		3		4													
No.	材料名	規格	適用年月	県単価	建設物価	ページ	積算資料	ページ	物価資料	特別調査	見積り（異常値を除く）			3社以上 平均値	決定単価	単位	設計書 入力単価 (単位変換)	単位	管理費 区分の 設定	
					建設物価	ページ	積算資料	ページ	(1)平均値 (2)一方端値	特別調査	(1)	(2)	(3)							
1																				
2																				
3																				
4																				
5																				
6																				
7																				
8																				
9																				
10																				

特殊施工単価（Vコード）

No.	施工名称	コード
1		
2		
3		
4		
5		
6		